

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 クリップコーポレーション
コード番号 4705 URL <http://www.clip-cor.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 井上憲氏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部担当兼マネージャー (氏名) 徳野順一

四半期報告書提出予定日 平成26年11月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 052-732-5200

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	1,921	△13.9	259	△20.6	263	△19.9	128	△29.5
26年3月期第2四半期	2,231	△6.7	326	△24.2	328	△24.3	182	△25.4

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 141百万円 (△22.2%) 26年3月期第2四半期 181百万円 (△24.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	28.70	—
26年3月期第2四半期	40.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	6,805	5,992	88.1
26年3月期	6,916	6,075	87.8

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 5,992百万円 26年3月期 6,075百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,967	△11.1	686	△16.0	691	△15.8	380	△19.5	84.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	4,536,000 株	26年3月期	4,536,000 株
27年3月期2Q	50,712 株	26年3月期	50,712 株
27年3月期2Q	4,485,288 株	26年3月期2Q	4,485,345 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策により、企業業績や雇用情勢に改善がみられましたが、中国やウクライナ情勢の影響を受けた欧州などの景気停滞もあり、輸出減少と生産コスト高が景気押し下げ要因となるなか、天候不順も加わり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

学習塾業界におきましては、少子化による学齢人口の減少もあり市場規模が縮小するなか、個別指導学習塾の乱立等、生徒獲得競争は益々激化しております。

こうしたなか、当社グループにおきましては、従来より積極的に進めてまいりました「体験と学習」の実践として理科実験授業・野外体験授業及び農業体験授業等の教育サービスの拡充と並行して既存教室の生産効率の見直しを徹底し、教室の統廃合も進めております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高19億21百万円(前年同期比3億10百万円減)となりました。

利益面につきましては、営業利益2億59百万円(前年同期比67百万円減)、経常利益2億63百万円(前年同期比65百万円減)、四半期純利益1億28百万円(前年同期比53百万円減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(教育事業)

子会社である株式会社螢雪ゼミナールを含む当第2四半期連結累計期間の平均生徒数は6,348名(前年同期比15.8%減)となりました。この結果、売上高は11億49百万円(前年同期比1億86百万円減)となり、セグメント利益は1億16百万円(前年同期比53百万円減)となりました。

(スポーツ事業)

スポーツ事業につきましては、当第2四半期連結累計期間の平均生徒数は16,357名(前年同期比16.9%減)となり、売上高は6億18百万円(前年同期比1億19百万円減)、セグメント利益は1億66百万円(前年同期比35百万円減)となりました。

(飲食事業)

添加物・保存料を使用しない弁当の宅配事業を展開しており、当第2四半期連結累計期間の売上高は1億29百万円(前年同期比4百万円減)、セグメント損失は23百万円(前年同期はセグメント損失21百万円)となりました。

(その他)

バスケット教室事業及び農業事業等を行っており、当第2四半期連結累計期間の売上高は28百万円(前年同期比1百万円減)、セグメント利益は0.7百万円(前年同期はセグメント損失23百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産合計は57億30百万円(前連結会計年度末比65百万円減)となりました。

これは主に、現金及び預金が80百万円減少し、受取手形及び売掛金が13百万円増加したことによるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産合計は10億75百万円(前連結会計年度末比45百万円減)となりました。

これは主に、有形固定資産が48百万円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債合計は7億28百万円(前連結会計年度末比31百万円減)となりました。

これは主に、未払法人税等が10百万円減少したことと、店舗閉鎖損失引当金が21百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債合計は84百万円(前連結会計年度末比4百万円増)となりました。

これは主に、退職給付に係る負債が4百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は59億92百万円(前連結会計年度末比83百万円減)となりました。

これは主に、配当金の支払い等により利益剰余金が95百万円減少したことによるものであります。

(キャッシュ・フロー状況の分析)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前年同期末に比べ3億37百万円増加し、46億39百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は1億70百万円(前年同期比59百万円増加)となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益が2億47百万円(前年同期比77百万円減少)でありましたが、たな卸資産が18百万円減少(前年同期は4百万円増加)したことと、未払消費税等が30百万円増加(前年同期は5百万円減少)したこと、法人税等の支払額が1億24百万円(前年同期は1億76百万円)であったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の増加は73百万円(前年同期は1億84百万円の減少)となりました。

これは主に、定期預金の預入による支出が1億79百万円(前年同期は2億29百万円)あったことと、定期預金の払戻による収入が2億79百万円(前年同期は79百万円)あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は2億24百万円(前年同期は1億30百万円の減少)となりました。

これは主に、配当金の支払額が2億24百万円(前年同期は1億79百万円)あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年5月12日付で公表しました業績予想を修正しております。詳細は、平成26年10月23日付で公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,472,211	5,391,815
受取手形及び売掛金	16,575	29,699
商品及び製品	113,934	98,086
原材料及び貯蔵品	14,540	11,987
その他	178,087	198,553
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	5,795,342	5,730,135
固定資産		
有形固定資産	296,236	247,651
無形固定資産	53,731	49,441
投資その他の資産	770,931	778,615
固定資産合計	1,120,900	1,075,708
資産合計	6,916,242	6,805,843
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,408	27,239
短期借入金	250,000	250,000
未払法人税等	117,886	107,815
賞与引当金	66,934	70,283
資産除去債務	842	—
店舗閉鎖損失引当金	21,892	—
その他	270,568	273,419
流動負債合計	760,531	728,758
固定負債		
退職給付に係る負債	59,430	64,084
資産除去債務	13,818	13,301
その他	6,814	7,134
固定負債合計	80,063	84,519
負債合計	840,594	813,277
純資産の部		
株主資本		
資本金	212,700	212,700
資本剰余金	29,700	29,700
利益剰余金	5,848,412	5,752,859
自己株式	△37,253	△37,253
株主資本合計	6,053,558	5,958,006
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,088	34,559
その他の包括利益累計額合計	22,088	34,559
純資産合計	6,075,647	5,992,565
負債純資産合計	6,916,242	6,805,843

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	2,231,695	1,921,034
売上原価	1,337,898	1,158,935
売上総利益	893,796	762,099
販売費及び一般管理費	567,530	503,031
営業利益	326,265	259,067
営業外収益		
受取利息	1,145	1,777
受取配当金	1,453	1,472
その他	1,496	2,584
営業外収益合計	4,095	5,834
営業外費用		
支払利息	1,845	1,832
その他	288	23
営業外費用合計	2,133	1,855
経常利益	328,227	263,046
特別利益		
違約金収入	—	12,900
特別利益合計	—	12,900
特別損失		
固定資産売却損	—	21,224
固定資産除却損	2,417	7,392
減損損失	909	—
特別損失合計	3,326	28,616
税金等調整前四半期純利益	324,901	247,329
法人税等	142,403	118,617
少数株主損益調整前四半期純利益	182,498	128,711
四半期純利益	182,498	128,711

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	182,498	128,711
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△935	12,470
その他の包括利益合計	△935	12,470
四半期包括利益	181,562	141,182
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	181,562	141,182
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	324,901	247,329
減価償却費	16,276	16,521
減損損失	909	—
店舗閉鎖損失引当金の増減額（△は減少）	—	△21,892
賞与引当金の増減額（△は減少）	3,565	3,349
受取利息及び受取配当金	△2,598	△3,249
支払利息	1,845	1,832
違約金収入	—	△12,900
固定資産売却損益（△は益）	—	21,224
固定資産除却損	2,417	7,392
売上債権の増減額（△は増加）	△10,081	△13,123
たな卸資産の増減額（△は増加）	△4,479	18,401
仕入債務の増減額（△は減少）	△5,853	△5,168
前受金の増減額（△は減少）	△40,218	△25,924
未払消費税等の増減額（△は減少）	△5,515	30,174
預り保証金の増減額（△は減少）	△300	320
退職給付引当金の増減額（△は減少）	8,732	—
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	—	4,653
その他	△2,814	12,631
小計	286,784	281,572
利息及び配当金の受取額	2,520	2,502
利息の支払額	△1,912	△1,822
法人税等の支払額	△176,032	△124,700
違約金の受取額	—	12,900
営業活動によるキャッシュ・フロー	111,360	170,451
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△229,900	△179,900
定期預金の払戻による収入	79,900	279,900
有形固定資産の取得による支出	△19,319	△44,764
有形固定資産の売却による収入	—	20,779
無形固定資産の取得による支出	△5,406	△552
投資その他の資産の増減額（△は増加）	△2,976	△2,109
貸付けによる支出	△10,610	△4,500
貸付金の回収による収入	4,263	5,116
投資活動によるキャッシュ・フロー	△184,049	73,970
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額（△は減少）	50,000	—
リース債務の返済による支出	△544	△553
自己株式の取得による支出	△114	—
配当金の支払額	△179,415	△224,264
財務活動によるキャッシュ・フロー	△130,074	△224,817
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△202,763	19,604
現金及び現金同等物の期首残高	4,505,055	4,619,703
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,302,291	4,639,307

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注)1 (千円)	合計 (千円)	調整額 (注)2 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3 (千円)
	教育事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に 対する売上高	1,335,370	737,537	133,614	2,206,522	25,172	2,231,695	—	2,231,695
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	5,046	5,046	△5,046	—
計	1,335,370	737,537	133,614	2,206,522	30,219	2,236,742	△5,046	2,231,695
セグメント利益 又は損失(△)	169,253	201,918	△21,511	349,660	△23,395	326,265	—	326,265

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バスケット教室事業・金属加工事業及び農業事業等を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注)1 (千円)	合計 (千円)	調整額 (注)2 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3 (千円)
	教育事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に 対する売上高	1,149,081	618,036	129,024	1,896,143	24,891	1,921,034	—	1,921,034
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	4,090	4,090	△4,090	—
計	1,149,081	618,036	129,024	1,896,143	28,981	1,925,124	△4,090	1,921,034
セグメント利益 又は損失(△)	116,083	166,140	△23,922	258,301	765	259,067	—	259,067

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バスケット教室事業及び農業事業等を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。